佐賀市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況（最終公表）

3　一般応募

NO	農地利用最適化推進委員の候補者									
	氏名	性別	年齢（歳）	職業	経歴		農業経営の状況		応募区域	応募の理由	農業委員への応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積（a）			
1	平野　剛	男	59	行政書士（自由業、自営業）		①サングリーン大和自治会（大和町大字東山田）三役（会計担当） ②『吉野ヶ里町誌』（2008年刊、吉野ケ里町誌編集委員会）執筆委員として、佐賀大学農学部准教授らとともに集落調査及び執筆（農地、水利他） ③行政書士事務所代表（大川市）（入管届出済取次行政書士、丁種封印会員・自動車登録ワンストップサービス(oss)支店登録） ④多面的機能支払い交付金事務受託行政書士登録 ⑤災害復興支援員行政書士 ⑥佐賀市上下水道事業経営審議会委員		無	大和	大和町に住んで30年を超える。この間、ジャスコ（現イオン）出店から、佐賀大和IC工業団地の三工場の操業開始、川上地区における佐賀都市計画地区計画策定（七ヶ瀬遺跡保存）など、ここ第二の故郷の土地利活用の恩恵にあずかりながら子育てをし、働いてきた。私は非農家だが、東山田・久留間、富士町畑瀬の農家の方々との交流の中で、水利や営農のご苦労をうかがって大変勉強になった。本業（行政書士）ではまだ現役世代と考えるが、今からは故郷の調和ある変容・発展のために、行政書士の専門性で恩返ししていきたく、応募した。 具体的な応募理由だが、軽率安易な思い込みによる違反転用を未然に防ぐべく、日頃から農家の方々とコミュニケーションをとり信頼を得て、彼らの親族間・地域住民の土地とりわけ農地に対する高い意識を醸成していきたい。あまりにも気軽に転用に流れてはならないが、本格的に佐賀県農業公社を介する譲渡とまではいかない案件については、適正な法手続きをきちんと誰でも経やすいよう「町の法律家」として頼ってもらいたい。報酬を得る行政書士としてではなく、委員報酬の対価として、第二の故郷のために尽くしたい。またその際、高齢の方々に対しては、コスモス成年後見サポートセンター会員行政書士の専門性を活かし、後見人等として、彼らの法律行為に関する意思決定を支援する社会貢献活動もしていきたい。	有